

# AEXUS ( Advanced EXtensible Utility for Sheet form) ver1.2.0

## リリースノート

このリリースノートは、AEXUS ver1.2.0 導入についての注意事項などについて記載しています。AEXUS をご利用の際は必ず目を通していただくようお願いいたします。

また、これらの内容はユーザのフィードバックを受けて更新されることがありますので、随時最新情報をご確認ください(最新情報は <http://www.medical-domain.com/> でご確認ください)

### 1. 導入についての注意

#### 動作環境

- Windows 2000 Professional  
Windows XP Professional/HOME Edition(32bit 版のみ)  
Windows Vista Home Basic/Home Premium/Business/Enterprise/Ultimate (32bit、64bit 版両対応)  
Windows 7 Home Premium/Professional/Enterprise/Ultimate(32bit、64bit 版両対応)
- Microsoft .NET Framework 2.0 以上(インストールされていない場合はネットワーク経由でインストールが可能です)
- データベースの関連付けを利用する場合は WOLF がインストールされている必要があります。  
無料版 WOLF ver1.0.0 以上、有料版 WOLF ver2.0.0 以上、WOLF-V2.0.4.1 以上をご利用ください。

#### 注意事項

##### • 帳票テンプレートについて

WOLF では紹介状や意見書、訪問看護指示書などあらかじめ用意された帳票がありますが、AEXUS ではご自身で帳票の素材を用意し、テンプレートを作成していただく必要があります。テンプレートは帳票の素材を用意いただければ簡単に作成できます。

WOLF の帳票作成機能追加ソフト「AEXUS Lib」で使用するテンプレートの作成にも AEXUS が必要です。

**その他の制限事項についてはマニュアルに記載しております。AEXUS ご使用前に必ず参照してください。**

## 2. インストール方法

### 新規インストール

AEXUS インストールディスクを PC にセットし、setup.exe を実行してください。

**.NET Framework 2.0 以上(インストールされていない場合はネットワーク経由でインストールが必要となります。)**

### 旧バージョンからのアップデート

AEXUS ver1.0.0～1.1.1 がインストールされている場合は、AEXUS のアップデートパッチをダウンロードしてください。

パッチを実行することで既にインストールされている AEXUS をアップデートします。

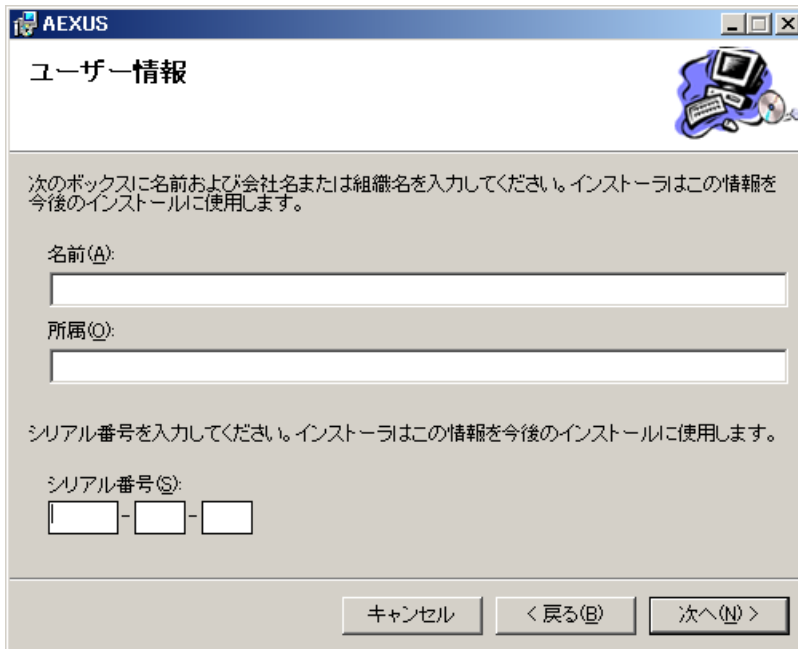
累積パッチになっていますので、過去のパッチを適用する必要はありません。

**AEXUS 体験版のアップデートには対応していません。**

## 3. シリアル番号

AEXUS の新規インストールを実行すると、下記のパスワード入力画面が表示されます。

製品に同梱された用紙を確認して番号を入力してください。



ユーザー情報

次のボックスに名前および会社名または組織名を入力してください。インストーラはこの情報を今後のインストールに使用します。

名前(A):

所属(O):

シリアル番号を入力してください。インストーラはこの情報を今後のインストールに使用します。

シリアル番号(S):  
--

キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) >

## 4. AEXUS の操作について(マニュアル)

AEXUS の操作方法については Windows のプログラムメニューに追加される AEXUS マニュアルを参照してください。



## 5. AEXUS ver1.2.0 で追加、変更された主な内容

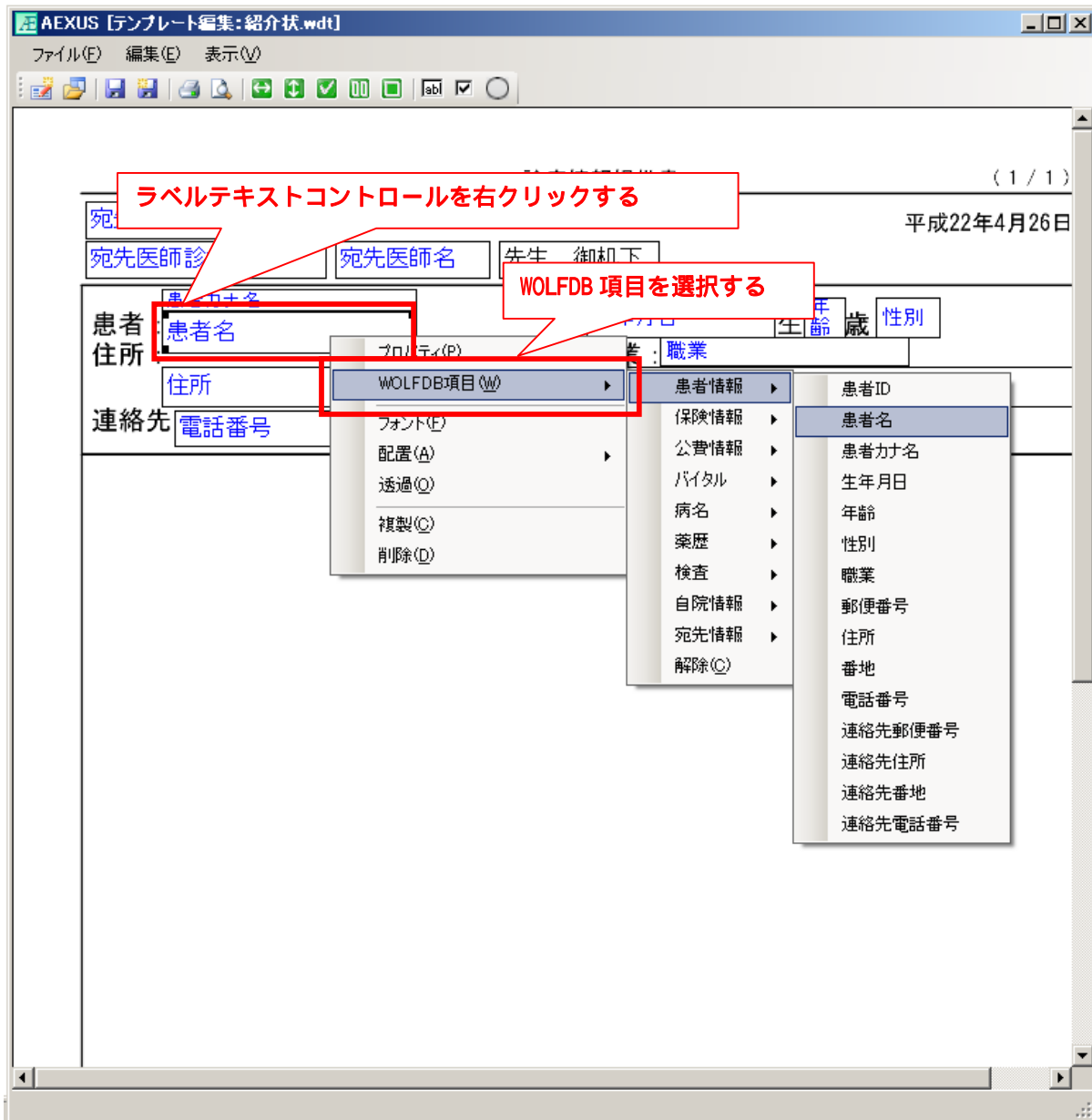
### 5-1.Windows 7(64bit)、Windows Vista(64bit)対応

Windows 7(64bit)、Windows Vista(64bit)に対応しました。

AEXUS インストールディスクからインストール後、AEXUS ver1.2.0 にアップデートしてください。

## 5-2. 右クリックメニューからの WOLFDB 項目設定

テンプレートの新規作成、編集時、テキストラベルコントロールに WOLFDB の関連付けをする場合、右クリックメニューのプロパティから設定できますが、右クリックメニュー自体の「WOLFDB 項目」から関連付けが可能です。



### 5-3. WOLFDB 項目 1 マス 1 文字設定

連続した文字や番号から 1 文字(1 桁)をそれぞれの 1 マスに記入する設定が可能です。

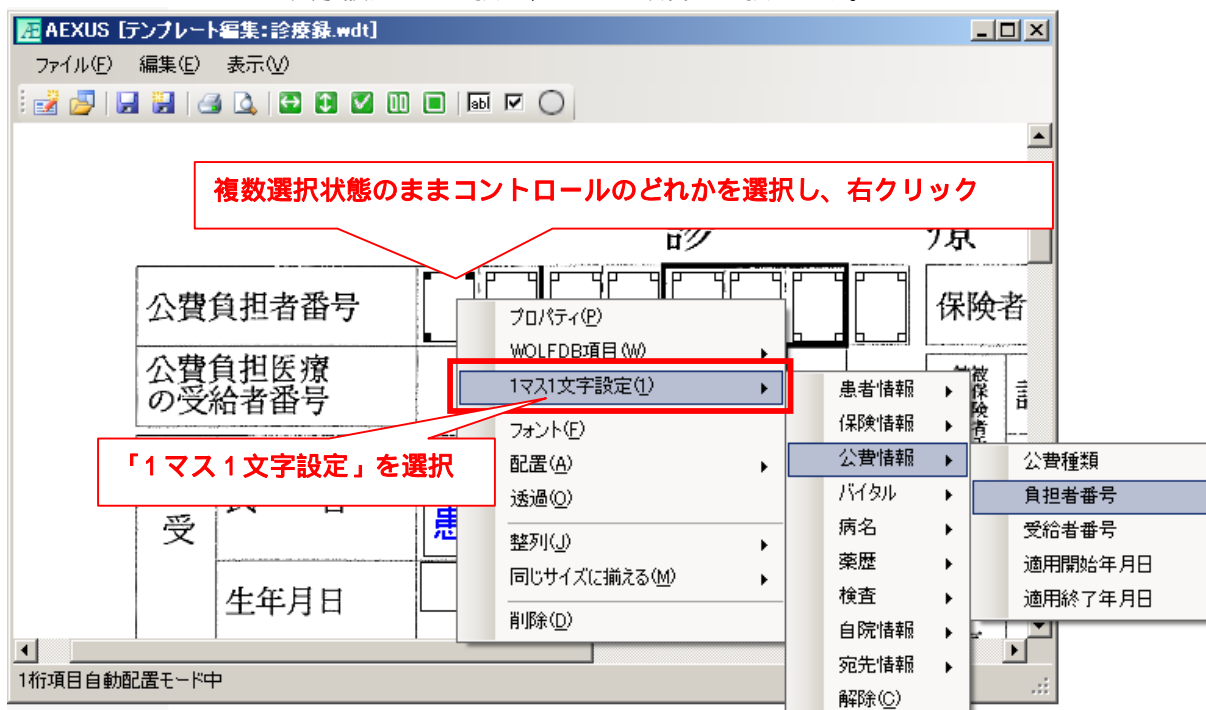
テンプレートの新規作成もしくは編集画面から、下図に示す「1 桁項目のコントロールの自動配置」ボタンを選択します。

次に設定したい箇所(四角で囲まれた部分が連続する場所)をマウスドラッグで囲みます。



各枠内にラベルテキストコントロールが自動配置され、全てが選択状態(四隅に四角印が付きます)になるので、コントロールのどれかを右クリックします。

メニューから「1 マス 1 文字設定」を選択し、WOLFDB 項目を選択します。



The screenshot shows a window titled 'AEXUS [テンプレート編集:診療録.wdt]'. The menu bar includes 'ファイル(F)', '編集(E)', and '表示(V)'. The toolbar contains various icons for file operations and editing. The main form area is divided into several sections:

- 公費負担者番号:** A row of seven '負担' (burden) labels, each in a small box, highlighted by a red rectangle. A red callout box points to them with the text '選択した全項目に WOLFDB 項目が設定される'.
- 公費負担医療の受給者番号:** A row of seven empty boxes.
- 受氏名:** A section with '患者カナ名' and '患者名' labels.
- 生年月日:** A section with '生年月日' and '年齢' labels, and buttons for '男' and '女'.
- 資格取:** A section with '資格取' and '年齢' labels.
- 保険者:** A section with '保険者' and '被保険者証' labels.

At the bottom of the window, it says '1桁項目自動配置モード中'.

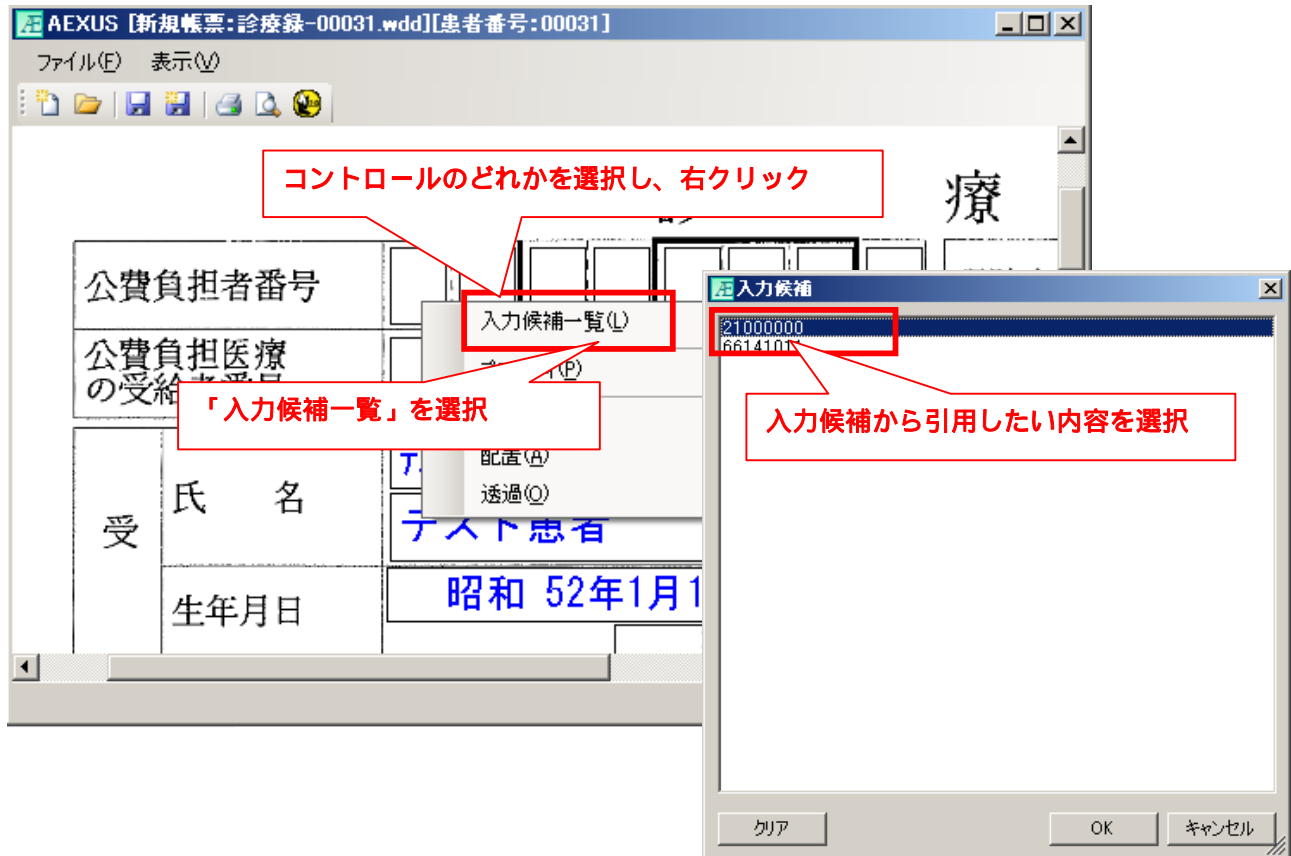
#### 手動設定の方法

自動配置がうまく動作しない場合は、手動で一つずつラベルテキストコントロールを配置してください。コントロール配置後、範囲選択機能またはキーボードの Ctrl キーを押しながらマウスクリックで、設定したい複数のラベルテキストを選択してください。

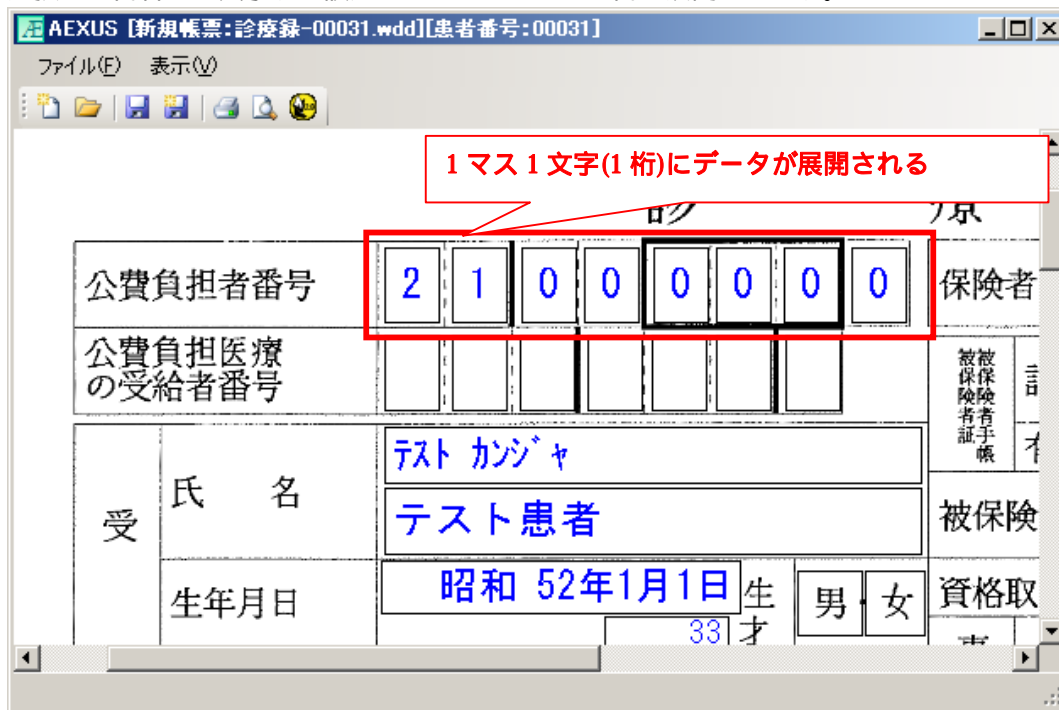
作成したテンプレートから帳票作成をおこない、1マス1文字設定をしたコントロールを右クリックし、「入力候補一覧」を選択します。

入力候補画面に WOLFDB から取得した該当患者の候補が表示されますので、帳票に記載したい内容を選択してください。

入力候補が一つの場合のみは、始めから画面に展開されますので選択操作は必要ありません。



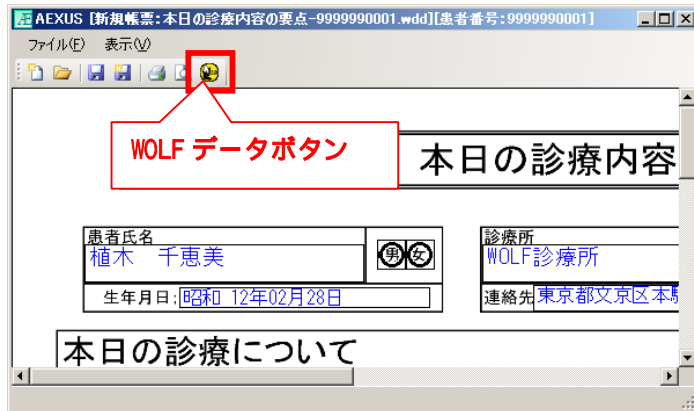
選択した内容が一文字ずつ設定したラベルテキスト内に展開されます。



## 5-4. WOLF データ参照

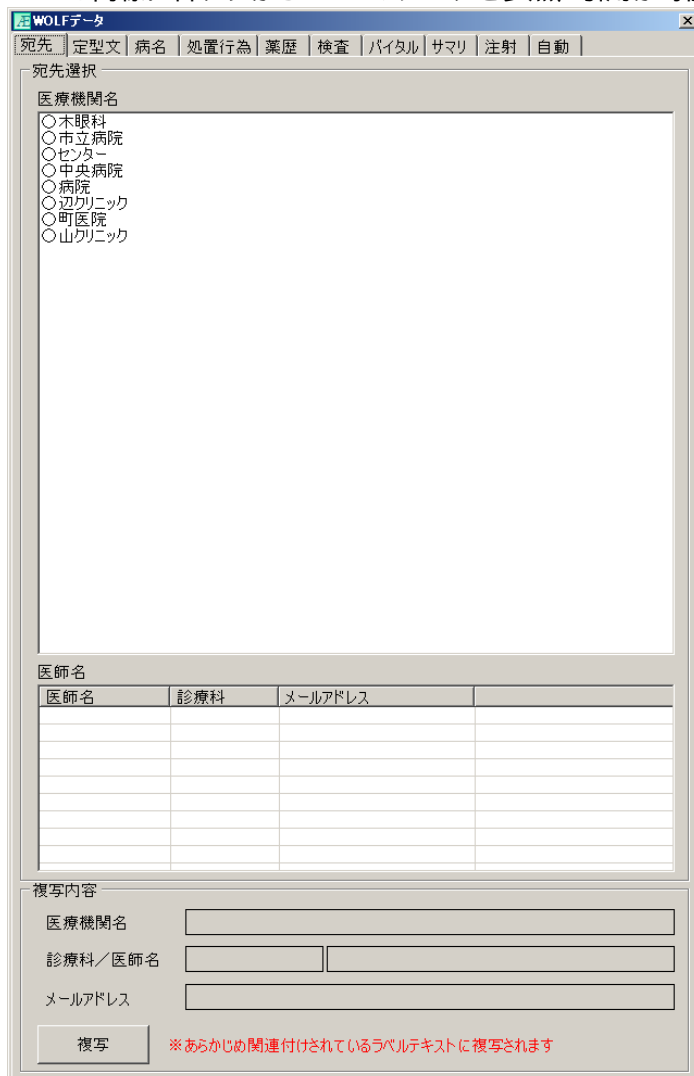
テンプレート作成時に各コントロールに WOLFDB 関連付け設定をすることで WOLFDB のデータを利用する事が可能ですが、WOLF データの参照機能を使用することで、任意の場所に WOLF のデータを引用も可能です。

帳票作成画面で、下図の WOLF データボタンをクリックしてください。



WOLF データ画面が表示されます。

WOLF と同様に各タブから WOLF のデータを参照、引用が可能です。



帳票上のラベルテキストコントロールを最初にクリックし、次に WOLF データ画面の参照項目をクリックすることで内容がコピーされます。  
参照項目はテキストを直接クリックもしくは、「複写」ボタンがある場合は複数の内容をコピーすることが可能です。

The screenshot shows the AEXUS software interface. The main window is titled '本日の診療内容の要約' (Summary of Today's Treatment). The patient's name is '植木 千恵美' (Ueki Chikemi) and the clinic is 'WOLF診療所' (WOLF Clinic). The 'WOLFデータ' (WOLF Data) window is open, displaying a table of medical conditions.

No	主	病名	疑	転帰	未
1		急性咽喉炎		治癒	<input checked="" type="checkbox"/>
2	◎	急性気管支炎			<input type="checkbox"/>
3		急性中耳炎		治癒	<input checked="" type="checkbox"/>
4		高血圧(症)			<input type="checkbox"/>
5		糖尿病性腎症			<input type="checkbox"/>
6		頸椎症			<input type="checkbox"/>

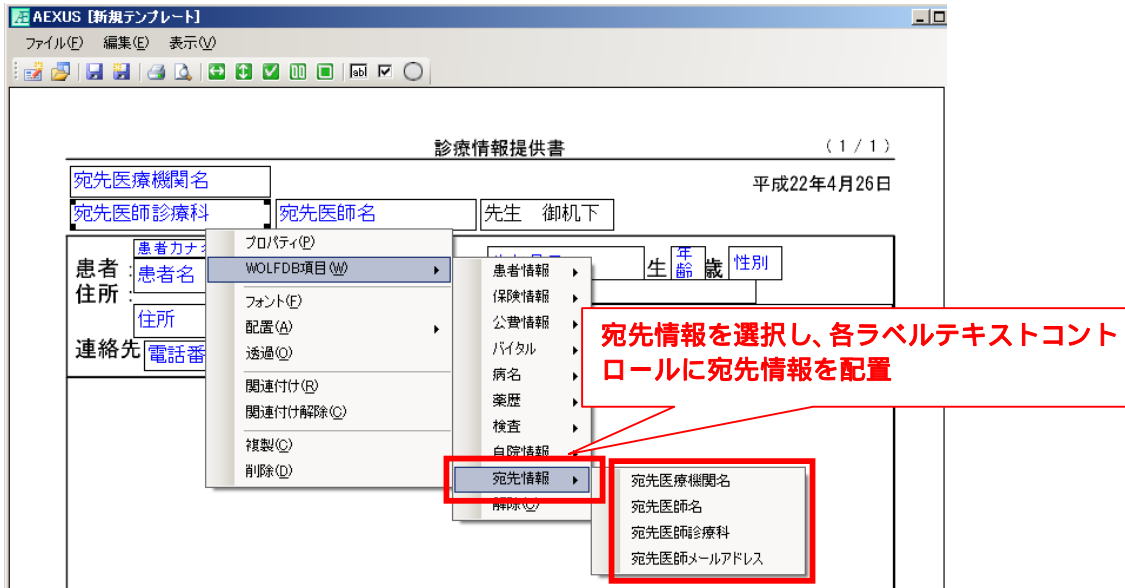
Red boxes and arrows indicate the following steps:

1. WOLFDB の内容を記載したい欄をクリック (Click the field where you want to record the content from WOLFDB)
2. 引用したい内容(例:頸椎症)をクリック (Click the content you want to cite (e.g., Cervical spondylosis))
3. 引用した内容がコピーされる (The cited content is copied)

The '頸椎症' (Cervical spondylosis) text is shown being copied into the '毎日の生活での留意事項' (Points to note in daily life) field.

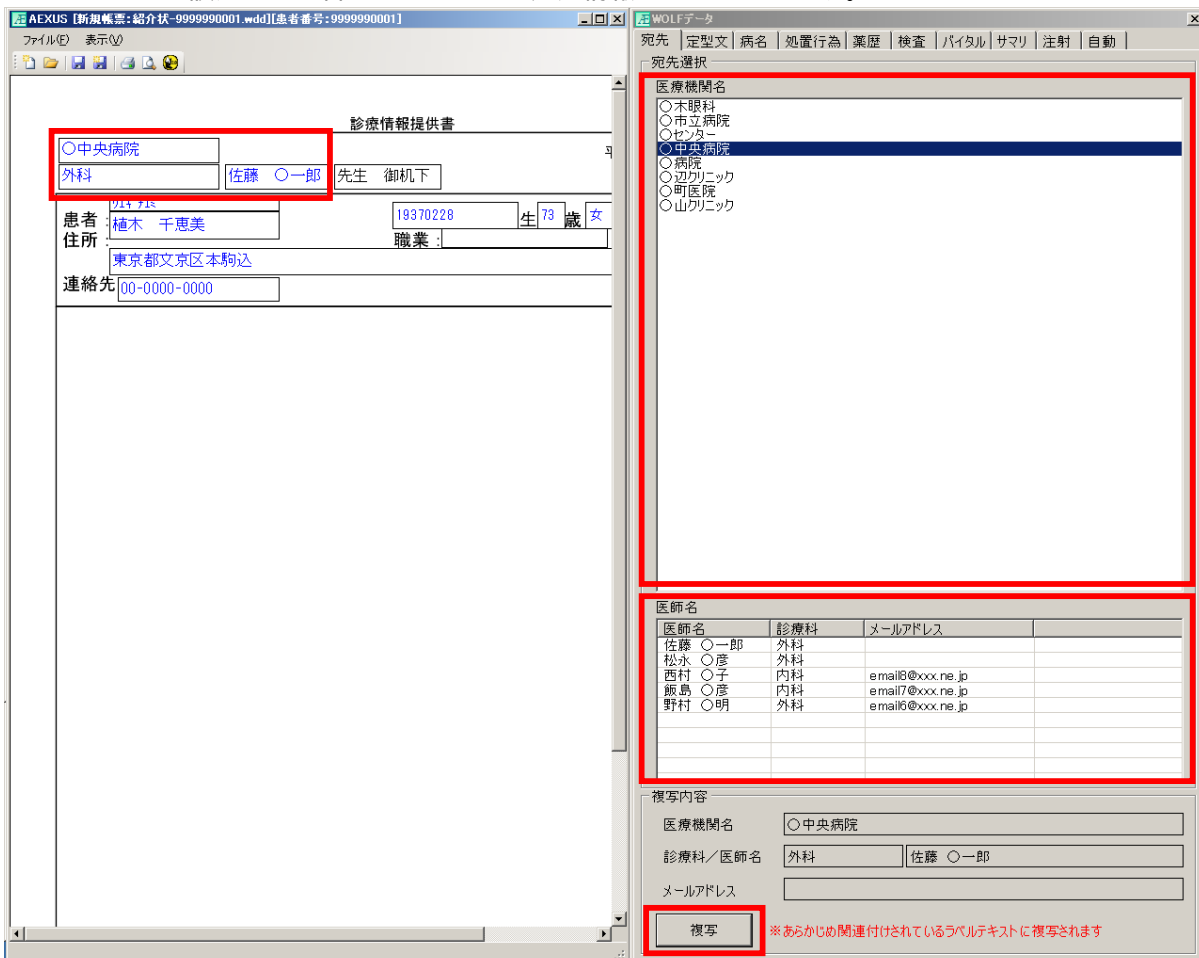
### 5-5. WOLF データから紹介状宛先情報の引用

テンプレートの新規作成、編集をおこない、WOLFDB 項目から「宛先医療機関名」、「宛先医師名」、「宛先医師診療科」、「宛先医師メールアドレス」等に関連付けしたラベルテキストコントロールを配置したテンプレートを作成します。



作成したテンプレートから帳票作成をおこない、WOLF データ画面から「宛先」タブを表示します。医療機関名、医師名を選択し「複写」ボタンを押してください。

テンプレートに設定された各コントロールに宛先情報がコピーされます。



テンプレートに宛先情報が関連付けられたラベルテキストコントロールを使用しない場合、医療機関名、医師名を選択し、複写内容に表示された内容をクリックすることで、帳票の任意のラベルテキストコントロールにコピーが可能です。

**1. WOLFDB の内容を記載したい欄をクリック**

**2. 引用したい内容 (例: 医師名) をクリック**

**3. 引用した内容がコピーされる**

診療情報提供書

患者氏名: 植木 千恵美  
 住所: 東京都文京区本駒込  
 連絡先: 00-0000-0000

先生 御机下

19370228 生 73 歳

職業:

医療機関名

- 木眼科
- 市立病院
- センター
- 中央病院
- 病院
- 辺クリニック
- 町医院
- 山クリニック

医師名

医師名	診療科	メールアドレス
加賀美 〇治	内科	email1@xxx.ne.jp
当山 〇郎	外科	email3@xxx.ne.jp
福山 〇夫	内科	email2@xxx.ne.jp

複写内容

医療機関名:  センター

診療科/医師名: 内科

メールアドレス: email1@xxx.ne.jp

複写 ※あらかじめ関連付けられているラベルテキストに複写されます

診療情報提供書

加賀美 〇治 先生 御机下

## 5-6. テンプレートファイルについて

AEXUS ver1.1.1 以前でテンプレートを作成した場合 bmp と wdt の2つのファイルが作成されていましたが、1.2.0以降でテンプレートを作成した場合、wdt ファイルのみが作成されます。従来の bmp と wdt のテンプレートファイルも 1.2.0 で帳票作成とテンプレート編集が可能です。

AEXUS ver1.1.1 以前



AEXUS ver1.2.0 以降



## 6. 不具合対応一覧(ABF - AEXUS Bug Fixed : AEXUS バグ管理番号)

本バージョンでの不具合修正はありません。